

C. その 他

I 発表論文抄録

1. Gas Chromatographic/Mass Spectrometric Determination of Oxolinic, Nalidixic, and Piromidic Acid in Fish

Keigo Takatsuki

J. Assoc. Off. Anal. Chem., 75, 982 (1992)

A gas chromatographic/mass spectrometric (GC/MS) method using selected ion monitoring (SIM) mode has been developed for determination of oxolinic, nalidixic, and piromidic acid in fish.

Drugs are extracted with ethyl acetate from a sample homogenized with phosphate buffer (pH 6.0).

The extract is partitioned into 3% sodium bicarbonate solution, and the aqueous phase is re-extracted with ethyl acetate after neutralization. After evaporation, the residue is dissolved in methanol and reduced with sodium tetrahydroborate. The reaction mixture is treated with acid, extracted with ethyl acetate, and re-extracted with ethyl acetate after alkalization. The combined ethyl acetate extract is passed through an alumina cartridge column, concentrated, and analyzed by GC/MS in SIM mode.

Percent recoveries and coefficients of variation (CV%) from silver salmon fortified at the 0.1 ppm level were 92.2(4.4) for oxolinic, 100.6(12.8) for nalidixic, and 92.1(3.8) for piromidic; at the 0.01 ppm level, they were 80.5(6.2) for oxolinic, 81.5(8.2) for nalidixic, and 69.6(8.5) for piromidic. The detection limit is 0.003 ppm.

2. 水道原水中の異臭味物質の分析

高橋紀世子 木戸 一博* 白地 良一
(*現・宮城県下水道公社吉田処理場)

用水と廃水 Vol.34 No.2 p.127 (1992)

水道水源となっている河川水及び湖沼水の異臭味物質をジクロロメタンによる溶媒抽出法(抽出比20:1)にて濃縮(濃縮率18000倍)し、キャピラリーGCカラムスニッフing分析をおこなった。

月毎に採取した試料から、草臭、ガス臭、生くさ臭、ワラ臭、かび臭等が確認された。この結果から、これらの臭味物質が総じて水道水に異臭味を呈させるものと示唆された。

また、従来より夏季にのみ発生していると考えられていたかび臭の原因物質である2-MIBとジオスミンが、5~6月頃からすでに極微量産生されていることから明らかとなった。

3. 浸出水の水質の経年変化からみた最終処分場の安定化

大槻 良子 阿部 時男 白地 良一

生活と環境 Vol.7 p.47 (1992)

宮城県内の一般廃棄物埋立処分場の稼働状況について、その実態を把握し、さらに埋立終了後約8年を経過した処分場をモデルとして、安定化にいたるまでの浸出水の水質の経年変化を調べ、安定化指標について考察した。その結果、稼働残余年数が5年以内の処分場数は、全体の6割以上であり、次の処分場用地の確保や跡地利用も検討が必要と思われた。

また、モデルとした処分場の水質は、pH、BOD、CODの項目については、安定化してきていると考えられた。

Ⅱ 学会発表

学 会 発 表

○印 発表者

1. 先天性副腎過形成症マスキリーニング(第1報)
○近野 寿美枝* 荒井 富雄 白石 廣行 山本 仁
(*がんセンター)
第28回宮城県公衆衛生学会 平成4年5月29日 仙台市
2. 宮城県におけるウイルス病 - 過去30年間の疫学的調査について -
○秋山 和夫 植木 洋枝 山本 仁
第28回宮城県公衆衛生学会 平成4年5月29日 仙台市
3. 天然食品添加物の効率的分析に関する研究 - 天然甘味料グリチルリチンについて -
○小林 孜 菊池 格*
(*現・宮城県原子力センター)
第28回宮城県公衆衛生学会 平成4年5月29日 仙台市
4. トリハロメタンの前駆物質に関する研究
○木戸 一博* 高橋 紀世子 白地 良一
(*現・宮城県下水道公社 吉田処分場)
第27回宮城県公衆衛生学会 平成4年5月29日 仙台市
5. 宮城県におけるツツガムシ幼虫の生息状況 - 仙台市内での調査結果 -
○植木 洋 秋山 和夫 山本 仁
第41回東北公衆衛生学会 平成4年7月24日 秋田市
6. 宮城県における神経芽細胞腫マスキリーニング - 1歳6か月検査について -
○加茂 えり子 菅原 直子 白石 廣行 山本 仁
第20回日本マスキリーニング学会 平成4年9月4~5日 京都市
7. 酸性雨自動測定結果について - 一降水中のpH-EC_pの経時変化 -
○百川 和子* 佐藤 信俊 加賀谷 秀樹 宮崎 栄一郎
(*現宮城県消費生活センター)
第18回北海道・東北ブロック公害研究連絡会議 平成4年10月19~20日 仙台市
8. 新幹線鉄道による低周波空気振動の事例について
○加藤 憲治 渡辺 丈夫* 榎野 光永** 新垣 康秀 宮崎 栄一郎
(*現宮城県大崎保健所 **現宮城県原子力センター)
第18回北海道・東北ブロック公害研究連絡会議 平成4年10月19~20日 仙台市
9. 平成4年度酸性雨合同調査結果(梅雨期)
○斎藤 善則 佐藤 博明 庄司 幸雄* 鈴木 壽雄 宮崎 栄一郎
(*現宮城県登米保健所)
第18回北海道・東北ブロック公害研究連絡会議 平成4年10月19~20日 仙台市
10. 宮城県発生源管理システムについて
○加賀谷 秀樹 佐藤 信俊 百川 和子* 宮崎 栄一郎
(*現宮城県消費生活センター)
第18回北海道・東北ブロック公害研究連絡会議 平成4年10月19~20日 仙台市

11. 宮城県におけるメタンの高濃度について

○加賀谷 秀樹 佐藤 信俊 百川 和子* 宮崎 栄一郎

(*現宮城県消費生活センター)

第18回北海道・東北ブロック公害研研究連絡会議 平成4年10月19~20日 仙台市

12. NO_x自動測定における酸化剤の安定性

○佐藤 信俊 加賀谷 秀樹 百川 和子* 宮崎 栄一郎

(*現宮城県消費生活センター)

第18回北海道・東北ブロック公害研研究連絡会議 平成4年10月19~20日 仙台市

13. 伊豆沼, 内沼における保全型給餌池の試みについて

○佐々木 久雄 菊池 格* 大場 修** 濱名 徹 江成 敬次郎***

柴崎 徹****

(*現宮城県原子力センター **現宮城県栗原保健所 ***東北工業大学 ****伊豆沼, 内沼環境保全財団)

第18回北海道・東北ブロック公害研研究連絡会議 平成4年10月19~20日 仙台市

14. 宮城県における地下水汚染の実態

○氏家 愛子 菊池 格*

(*現宮城県原子力センター)

第18回北海道・東北ブロック公害研研究連絡会議 平成4年10月19~20日 仙台市

15. 偏光顕微鏡によるアスベスト計測

○佐藤 博明 斎藤 善則 庄司 幸雄* 鈴木 壽雄 宮崎 栄一郎

(*現宮城県登米保健所)

薬剤師会学術大会 平成4年11月1日 仙台市

16. 牛における下痢原性大腸菌の分類について(第1報)

○上村 弘 荒井 富雄 山本 仁

平成4年度地研北海道・東北・新潟支部微生物研究部会総会 平成4年11月26~27日 盛岡市

17. A型肝炎とほぼ同時に発病したツツガムシ病の一事例

○畠山 敬 植木 洋 葛岡 勝悦 秋山 和夫 山本 仁

平成4年度地研北海道・東北・新潟支部微生物研究部会総会 平成4年11月26~27日 盛岡市

18. 酸性雨のEC_pによる評価法について

○百川 和子* 佐藤 信俊 加賀谷 秀樹 宮崎 栄一郎

(*現宮城県消費生活センター)

第19回環境保全・公害防止研究発表会 平成4年11月26~27日 福岡市

19. ダム湖内における内部生産とTHM生成能

○木戸 一博* 高橋 紀世子 大槻 良子 白地 良一

(*現・宮城県下水道公社 吉田処分場)

第29回日本水処理生物学会 平成4年11月26~28日 仙台市

Ⅲ 研究発表会

第11回 研究発表会

日 時 平成5年3月5日(金) 9:20~15:45
 場 所 宮城県保健環境センター大会議室
 主 催 宮城県保健環境センター

研究発表

○印 発表者

座長 秋山 和夫(微生物部)

9:30~10:30

1. 食中毒データベース入力ルーチンの作成
 情報管理部 ○白取 博志 三浦 英美 助野 典義 高橋 富基
2. 宮城県における神経芽細胞腫マス・スクリーニング - 1歳6カ月児検査について(第1報) -
 微生物部 ○菅原 直子 近野寿美枝 加茂えり子 川野 みち
 白石 廣行 山本 仁
3. A型肝炎とほぼ同時に発症したツツガムシ病の一事例
 微生物部 ○畠山 敬 植木 洋 葛岡 勝悦 秋山 和夫
 白石 廣行 山本 仁 中里 千昭(中里産婦人科医院)
4. ウシにおける下痢原性大腸菌の分類について(第1報)
 微生物部 ○上村 弘 荒井 富雄 山本 仁
 御代田恭子(仙南食肉衛生検査所)

座長 佐藤 勤(水質部)

10:30~11:15

5. 沿岸海域の回復可能性を有する大腸菌の挙動(第1報) - 回復可能性を有する大腸菌の基礎的研究 -
 微生物部 ○植木 洋 上村 弘 荒井 富雄 秋山 和夫
 山本 仁
- 水質部 ○佐々木久雄 賓名 徹 菊池 格
6. 松島湾における巻き上げ底泥が水質に及ぼす影響(第1報)
 水質部 ○佐々木久雄 富塚 和衛 高橋 正弘 佐藤 勤
 菊池 格 西村 修(東北大学工学部)
7. 蔵王火山活動の環境への影響について(第1報)
 仙南保健所 ○清野 茂 浦山 清 高橋 秀逸 八木 純
 平井 二郎

座長 大庭 和彦(環境管理課)

11:15~12:00

8. 揮発性有機塩素化合物による地下水汚染の実態
 水質部 ○氏家 愛子 富塚 和衛 菊池 格
9. 保全型給餌池の試みとマコモを利用した水質浄化(第1報)
 水質部 ○佐々木久雄 賓名 徹 大場 修 菊池 格
 江成敬次郎(東北工業大学)
 柴崎 徹(伊豆沼・内沼環境保全財団)
10. 発臭藻類の分離培養と発臭物質の同定
 環境衛生部 ○白地 良一 阿部 時男 高橋紀世子

————— 昼 食 ・ 休 憩 —————

12:00~12:45

座 長 百 川 和 子 (大気部)

12:45~13:30

11. 除草剤の環境中挙動に関する研究 — トリアジン系除草剤 —

理 化 学 部 ○石川 潔 高槻 圭悟 小笠原久夫

12. 銕類に混入した不純物の検査について

理 化 学 部 ○清野 陽子 西村はるみ 須藤由希子 石川 潔
高槻 圭悟 小林 孜 小笠原久夫

13. 食品中のパラオキシ安息香酸エステル類の分析法の検討

理 化 学 部 ○小林 孜 小笠原久夫

座 長 氏 家 愛 子 (水質部)

13:30~14:15

14. 放射性降下物研究における天然核種
- ⁷
- Beと
- ²¹⁰
- Pbの利用

原子力センター ○石川 陽一 村上 弘

15. 宮城県内における酸性雨の地域特性について (第2報)

大 気 部 ○鈴木 壽雄 庄司 幸雄 佐藤 博明 斎藤 善則
宮崎栄一郎

16. 酸性降下物の環境に及ぼす影響について

大 気 部 ○庄司 幸雄 鈴木 壽雄 佐藤 博明 斎藤 善則
宮崎栄一郎

座 長 仁 平 明 (原子力安全対策室)

14:15~15:00

17. 表形式データの3次元表示プログラムの開発

情 報 管 理 部 ○鍵谷 真男 中村栄一 高橋 富基

18. モニタリングステーション周囲の環境ガンマ線の分布

原子力センター ○小川 武 榎野 光永 佐藤 健一 石川 陽一
小葉松英行 村上 弘

19. 多賀城地域におけるメタン濃度の変動について (第2報)

大 気 部 ○加賀谷秀樹 百川 和子 佐藤 信俊 宮崎栄一郎

座 長 嵯 峨 京 時 (大気部)

15:00~15:45

20. 大気自動測定における保守管理について — NO
- _x
- 計に使用される酸化剤の安定性 —

大 気 部 ○佐藤 信俊 百川 和子 加賀谷秀樹 宮崎栄一郎

21. 偏光顕微鏡によるアスベスト計測

大 気 部 ○佐藤 博明 庄司 幸雄 鈴木 壽雄 斎藤 善則
宮崎栄一郎

22. 有機質肥料製造施設の悪臭実態調査結果 (第1報)

大 気 部 ○新垣 康秀 嵯峨 京時 宮崎栄一郎
榎野 光永 (原子力センター)

IV 談話会等

談 話 会

幅広く公衆衛生上の知見を得ることを目的として、所内外の講師に総説、最近のトピックス、現在の試験、研究等の話題を提供してもらい検討する会である。

原則として毎月第3木曜日1時15分から所内会議室において開催している。

第104回：（平成4年11月）

「地球環境保全状況調査報告」

大気部 嵯峨 京時，加賀谷秀樹

理化学部 石川 清

宮城県保健環境センター年報執筆要領

1. (原稿の種類) 調査, 研究論文および資料とする。
2. (原稿の執筆規定)
 - (1) 原稿はB5判(20×20字)横書き原稿用紙に楷書で明瞭に書く。
学術用語は学会の慣例に従う。
 - (2) 原稿は表題, 著者名, 抄録, 序文(またははじめに), 方法, 結果, 考察(または結果と考察), 謝辞, 参考文献の順序に準じて記載する。
資料も原則として, この順序に従って記載する。
 - (3) 著者に他機関の人を含む場合は, *印を付けて脚注に記載する。
 - (4) 参考文献は, 最小限にとどめ, 本文中の引用箇所(1), 2)~4)のように肩番号を付して示す。
(記載方法)
雑誌: 著者名: 雑誌名, 巻, 号, 頁(西暦年)
単行本: 著者名: 書名, 版数, 頁, 発刊所(西暦年)
 - (5) 図, 表は別紙に記載し, 表題を付け(表の題は表の上に, 図の題は図の下に)それぞれ表1, 図1のように一連の番号を付け, 本文のあとにまとめて綴る。
図表の入る位置は, 本文中に赤字で示す。
図はそのまま製版できるようにA4版の指定用紙(オストリッチグラフ用紙)に, 黒インクで丁寧に書く。
 - (6) 写真は, 使用が不可欠の場合のみ, 強いコントラストを示すものに限って受付ける。
3. (原稿の提出) 原稿は毎年7月末日までに, 各部の編集委員に提出する。
執筆規定に従っていない場合は, 書き直しを求める場合がある。
原稿は返却しないので, 各自必要に応じコピーをとっておくこと。

付 録

保健環境センター10年のあゆみ抄録
(昭和57～平成4年)

10年間にみる保健環境センターのトピック

1982年

1. 機構改革によって、8月1日、保健環境センターが誕生。
(衛生研究所30年、公害技術センター10年の歴史を閉じる)
2. 第3回全国衛生微生物技術者協議会が本センターで開催。
3. 除草剤(MO粒剤)中のPCDDによる環境汚染が問題化。
4. 窒素、燐の環境基準設定のための湖沼水質基礎調査開始。
5. ブルーインパルス、東北新幹線等の騒音が問題化。
6. 白地研究者ら下痢症ウィルスの免疫学的研究により厚生大臣から表彰。
7. 大気常時監視中央テレメーターオンラインコンピューターをM4(NEC)からMS120(NEC)に更新。

1983年

1. 情報管理部に保健情報科と環境情報科を設置。
2. 世界的にダイオキシンが問題となる。また微量環境汚染物質が一層注目される時代となる。
3. 酸性雨の成分分析調査開始。地域環境汚染対策と共に地球環境問題に取り組む時代となる。
4. トリクレン、パークレンなどによる地下水の汚染実態調査開始。
5. 生活雑排水に関する基礎調査開始。
6. 感染症サーベイランス情報の電算処理作業開始。
7. 東北新幹線、時速240kmを目指し走行テストが開始され、特殊公害部騒音調査開始。
8. 助野研究者ら核タンパク質を用いたインフルエンザの新しい診断法の開発により厚生大臣表彰を受ける。

1984年

1. 宮城県で最初の「つつが虫病」患者を確認。
2. 第10回北海道・東北ブロック公害研究連絡会議が秋保町で開催。
3. 昭和52年以来久しぶりに渇水注意報が発令された水不足の年。河川水量低下による水質悪化。
4. 悪臭の規制(県条例による)に5点比較式臭袋法を採用。
5. 宮城県で初めての自動車排ガス自動測定局を塩竈市内に設置。

1985年

1. 神経芽細胞腫マス・スクリーニング検査(生後6ヶ月の全乳児)がスタート。
2. 昭和60年度全公研北海道・東北支部総会が蔵王町で開催。
3. 情報解析用電算機として従来のACOS340(NEC)に替えて、より高性能のACOS430を導入。
4. スパイクタイヤ条例の制定に向け粉じん調査いよいよ本格化。
5. 湖沼水質保全特別措置法による指定にむけ釜房ダム周辺の水質汚濁濁負荷量調査開始。
6. 上野乗り入れを果たした東北新幹線鉄道、仙台・東京2時間時代に向け時速270kmの試験走行が開始され、大気部、環境騒音測定を行う。

1986年

1. P3レベルの高度安全実験室を備えた分庁舎建築工事開始。
2. 第37回地方衛生研究所全国協議会総会が仙台市で開催。
3. AIDS検査開始。本センターが東北六県新潟地区のAIDS確認検査機関として、厚生省から指定。
4. 本センターが、宮城県結核・感染症情報センターとして位置づけされる。

1987年

1. 分庁舎が落成し、使用を開始。同時に微生物部が使用していた旧施設の活用を図り改修工事開始。
2. 築館地域で、有機塩素系溶剤による地下水汚染が問題となる。
3. 神経芽細胞腫マス・スクリーニング検査で初めての患者を発見。
4. 榎野技師が飲料水の検査技術指導のため青年海外協力隊員としてガーナ国へ派遣。

1988年

1. 8月1日、特殊公害部が大気部に吸収され昭和47年以來の歴史を閉じる。
2. 第29回大気汚染学会が仙台市市民会館などを会場として開催。
3. 食中毒の発生件数が過去最低のレベルとなる。
4. 東北新幹線時速276kmテスト走行。騒音値83デシベルを記録。

1989年

1. 元東北大学学長石田名香雄氏が本センターの顧問に就任。
2. 仙台市が政令指定都市になったことにより業務（大気泉局、大倉ダム・七北田ダム等関係）の移管を行う。
3. 先天性副腎過形成のマススクリーニング検査業務がスタート。
4. 農薬による環境汚染が問題化しゴルフ場における農薬使用実態調査開始。
5. 宮城県で初めて日本住血吸虫症患者が発生。感染原因調査により、先の大戦中に中国大陸で感染したものと判明。
6. 佐々木研究員、環境政策、環境教育の研修のためオーストラリアに派遣。
7. 電算機がA C O S 430に替えA C O S 3400を導入。また、新型のガスーマススペクトロメーターを設置。
8. 保健所技術職員（試験検査課職員研修要綱による）検査技術研修を実施。

1990年

1. 県に地域環境保全基金が設けられ各種の事業が始まる。本センターでも環境情報資料室が環境情報センターとなった。また、環境情報誌「みやぎの環境」が創刊。
2. 副腎過形成症マススクリーニング検査により4名の患者を発見。

1991年

1. 永年お世話になった「しあわせ」が廃船となり、20年間続いた海水採取は委託となる。
2. 佐々木所長、ゴミ政策視察のため欧州に派遣。
3. 地球環境保全対策事業で湖沼水を含めた酸性雨の調査を開始。
4. 水道普及促進対策5ヶ年計画で県内井戸水の有機塩素化合物の測定を開始。
5. 結核・感染症サーベイランス事業が「保健医療情報システム」に組み込まれ、全保健所をネットワークで結ぶ。

1992年

1. イタリア産ワインから農薬が、ソビエト産ウオッカから違反食品添加物が相次いで発見され理化学部は対応に迫られる。
2. 水道水質基準が大幅に改正（平成5年12月1日施行）となり、安全だけでなくおいしさを求める「快適項目」が取り入れられる。
3. 嵯峨主任研究員、石川、加賀谷両研究員らの4名、欧州の環境保全研究の現況等調査の目的でヨーロッパへ派遣。
4. 第18回北海道・東北ブロック公害研研究連絡会議が松島町で開催。
5. 「ガイアを語る会」、各分野の専門家を招き盛況裡に開催。
6. エイズが社会問題化するなか、保健所を窓口とするエイズ検査が増加。

学 会 発 表

1982年

1. 高木式によるLeの推定精度及び数値シュミレーションによるLdnについての一考察
○小室 健一・加賀谷 秀樹・菊地 英男・小野寺 恒之
電子通信学会騒音研究会 1982年8月20日(仙台市)
2. 多発性硬化症の麻疹抗体陽性牛初乳による治療の試み
○梅津 幸司・麻生 久・佐藤 昭夫・海老名 卓三郎・石田 名香雄
第30回日本ウイルス学会 1982年11月10日~12日(京都市)
3. 白地抗原と非A非B型肝炎
○白地 良一・尾関 恒雄・田岡 賢雄
第24回日本消化器病学会 1982年10月14日~16日(山形市)
4. 非A非B型肝炎の抗原抗体系
○白地 良一
厚生省特定疾患難治性の肝炎研究班総会 1982年2月10日(東京都)
5. 非A非B型肝炎ウイルス関連抗原の検索
○白地 良一・新妻 澤夫・館田 朗・菊地 金男・石田 名香雄
第31回東北公衆衛生学会 1982年7月21日(仙台市)
6. ワイル病予防接種における予防接種歴と抗体の消長
○小原田 奈美・遠藤 好喜・新妻 澤夫・白地 良一
第31回東北公衆衛生学会 1982年7月21日(仙台市)
7. HB e 抗原抗体の検出と問題点
○白地 良一
第3回衛生微生物技術者協議会研究会 1982年7月8日~9日(仙台市)
8. ストレプトコッカスコッカスB群に対するインフルエンザウイルスの吸着
○助野 典義・小原田 奈美・菊地 由紀
第36回日本細菌学会東北支部総会 1982年8月27日~28日(仙台市)
9. 弁当、惣菜製造所における原料の入荷状況及び調理器具などの黄色ブドウ球菌の汚染状況
○湯田 和郎・尾形 芳明・高野 修・伊達 洋司
第19回宮城県公衆衛生学会(仙台市)
10. マーケットバスケット法による日常食品からの汚染物摂取量調査(II)
○佐藤 信俊・高槻 圭悟・百川 滉・山田 わか・小野 研一
鈴木 滋・菊地 秀明・加茂 えり子・牛沢 勇・堺 敬一
第31回東北公衆衛生学会 1982年9月21日(仙台市)
11. 水田除草剤の魚介類中残留(II)
○鈴木 滋・佐藤 信俊・高槻 圭悟・加茂 えり子・牛沢 勇
堺 敬一
第19回全国衛生化学技術協議会 1982年9月21日(京都市)
12. 食品中の残留農薬分析
○佐藤 信俊・鈴木 滋・牛沢 勇・堺 敬一
昭和57年度化学系8学協会連合東北地方大会 1982年10月1日(盛岡市)
13. 有機リン系殺菌剤(IBP)の魚介類中残留
○鈴木 滋・佐藤 信俊・高槻 圭悟・牛沢 勇・堺 敬一
第21回日本薬学会東北支部大会 1982年10月24日(仙台市)
14. 食品中重金属分析における前処理法の検討 - 硫硝酸分解での鉛の回収 -
○菊地 秀明・百川 滉・佐藤 信俊・加茂 えり子・牛沢 勇
第21回日本薬学会東北支部大会 1982年10月24日(仙台市)
15. 仙台湾沿岸地域におけるオキシダント高濃度事例調査について
○加藤 憲治
第8回北海道・東北ブロック公害研究連絡会議 1982年9月9日~10日(札幌市)

16. スパイクタイヤ装着地域における道路粉じん実態について
○加藤愛子
第8回北海道・東北ブロック公害研研究連絡会議 1982年9月9日～10日(札幌市)
17. スパイクタイヤ装着地域における道路粉じん実態調査 - B(a)Pについて -
○北村洋子・加藤愛子・安倍陸夫・加藤謙一・森泰明
狩野敏郎
第21回日本薬学会東北支部大会 1982年10月24日(仙台市)
18. スパイクタイヤ装着地域における道路粉じん実態調査について
○加藤愛子
第9回環境保全, 公害防止研究発表会 1982年11月30日～12月1日(東京都)
19. 宮城県北部の主要河川の濃縮毒性調査と毒性解析
○柳茂・大内晋一・鎌田正弘・小泉俊一・斎藤善則
佐藤春雄
第9回環境保全, 公害防止研究発表会 1982年11月30日～12月1日(東京都)
20. 人為汚濁の少ない人造湖における環境基準の保守について
○佐々木俊行
第8回北海道・東北ブロック公害研研究連絡会議 1982年9月9日～10日(札幌市)
21. 建屋臭気の意味するもの
○氏家国夫・八木純
第23回大気汚染学会 1982年11月9日～11日(宮崎市)

1983年

1. 食中毒様症状の集団発生に証明された新型ウイルス
○梅津幸司・白地良一・山本仁・湯田和郎・新妻澤夫
第19回宮城県公衆衛生学会総会 1983年2月18日(仙台市)
2. 風疹の血清疫学と流行予測
○秋山和夫・山本仁・新妻澤夫
第19回宮城県公衆衛生学会総会 1983年2月18日(仙台市)
3. 宮城県における食事からの突然変異原性物質摂取量調査(第1報)
○菊地秀明・佐藤信俊・牛沢勇
第19回宮城県公衆衛生学会学術総会 1983年2月18日(仙台市)
4. 本県におけるガン死亡率と水道水等の環境要因との関係における統計的解析
○清野茂・庄司晃子・千葉規・郡山力・一ノ渡義巳
第19回宮城県公衆衛生学会学術総会 1983年2月18日(仙台市)
5. スパイクタイヤ装着地域における道路粉じん実態調査
○加藤愛子・安倍陸夫・加藤謙一・北村洋子・森泰明
狩野敏郎
第19回宮城県公衆衛生学会 1983年2月18日(仙台市)
6. 宮城県内における活性汚泥処理施設の実態調査および浄化槽の季節的変化について
○斎藤善則・佐藤秀夫・佐々木俊行・鎌田正弘・郡山力
第19回宮城県公衆衛生学会 1983年2月18日(仙台市)
7. B群レンサ球菌のインフルエンザレセプター
○助野典義・山本仁・新妻澤夫
第37回日本細菌学会東北支部総会 1983年9月9日～10日(福島市)
8. 食品中の残留有機塩素系農薬の動向
○小野研一・佐藤信俊・鈴木滋・牛沢勇
第20回全国衛生化学技術協議会年会 1983年9月29日～30日(宇都宮市)
9. 食品中の臭素酸カリウムのイオンクロマトグラフによる分析法について
○山田わか・菊地秀明・牛沢勇・百川滉
第20回全国衛生化学技術協議会年会 1983年9月29日～30日(宇都宮市)

10. 水道におけるカビ臭の測定法
○木戸一博・千葉規・郡山力
第20回全国衛生化学技術協議会年会 1983年9月29日～30日（宇都宮市）
11. ガスクロマトグラフィーによるフェノールおよびフェノール類の定量法
○菅原隆一・木戸一博・郡山力
第20回全国衛生化学技術協議会年会 1983年9月29日～30日（宇都宮市）
12. B群レンサ球菌より分離精製したインフルエンザレセプターの性状
○助野典義・海老名卓三郎・石田名香雄
第31回日本ウイルス学会総会 1983年10月5日～7日（大阪市）
13. ダイオキシンの分析法の検討
○鈴木滋・佐藤信俊・高槻圭悟・菊地秀明・牛沢勇
第46回食品衛生学会学術講演会 1983年10月13日～14日（山形市）
14. 水田用農薬の魚介類中残留
○佐藤信俊・鈴木滋・牛沢勇・百川滉
第22回日本薬学会東北支部大会 1983年10月22日～23日（盛岡市）
15. スパイクタイヤによる道路粉じんの実態
○菊池格
第9回北海道・東北ブロック公害研究連絡会議 1983年10月25日～26日（秋田市）
16. 活性汚での性状と浄化能との関係について
○斎藤善則・鎌田正弘・木村茂・佐々木俊行・田中和郎
柳茂・佐藤秀夫
第9回北海道・東北ブロック公害研究連絡会議 1983年10月25日～26日（秋田市）
17. 宮城県柴田町船岡地区におけるNO₂濃度分布実態調査
○北村洋子・氏家愛子
第24回大気汚染学会 1983年11月16日～18日（四日市市）
18. 道路粉じん中アスファルト含有量の推定について
○安倍睦夫・加藤謙一・氏家愛子・北村洋子・森泰明
狩野敏郎
第10回環境保全・公害防止研究発表会 1983年12月7日～8日（東京都）

1984年

1. 感染症と学校欠席
○山本仁・小室健一・佐藤春雄
第20回宮城県公衆衛生学会学術総会 1984年2月16日（仙台市）
2. 県内におけるつつが虫病の血清学的検索
○秋山和夫・山本仁・新妻澤夫
第20回宮城県公衆衛生学会学術総会 1984年2月16日（仙台市）
3. 食品中の有機リン系農薬の残留 — 日常食品の汚染物摂取量調査より —
○百川和子・菊地秀明・鈴木滋・佐藤信俊・牛沢勇
第20回宮城県公衆衛生学会学術総会 1984年2月16日（仙台市）
4. 日常食品からの無機物質の一日摂取量
○加茂えり子・百川和子・菊地秀明・山田わか・佐藤信俊
牛沢勇
第20回宮城県公衆衛生学会学術総会 1984年2月16日（仙台市）
5. 水道水中の非イオン界面活性剤の分析
○秋野正造・群山力
第20回宮城県公衆衛生学会学術総会 1984年2月16日（仙台市）
6. 宮城県におけるガン死亡率と発生要因としての環境要因との関係に関する統計的解析（第1報）
○清野茂・千葉規・郡山力
第20回宮城県公衆衛生学会学術総会 1984年2月16日（仙台市）

7. 人造湖（漆沢ダム）の水質汚濁調査について（中間報告）
○田中和郎・鎌田正弘・高橋正弘・佐々木俊行・佐藤秀夫
大庭和彦・高橋紀世子・宮崎栄一郎・佐藤春雄
北上川・阿武隈川水系水質汚濁対策連絡協議会第3回検討会 1984年2月23日（仙台市）
8. ダイオキシンに関する研究(II)
○牛沢 勇・佐藤信俊・鈴木 滋・菊地秀明・高槻圭悟
日本食品衛生学会第47回学術講演会 1984年5月17日～18日（東京都）
9. Human Parvo Virus in Japan
○白石廣行・大河内 一雄・Robert H.Purcell
第6回国際ウイルス学会 1984年9月1日～7日（仙台市）
10. 塩素化ジフェニルエーテル化合物の生体影響に関する検討
○菊地秀明・鈴木 滋・佐藤信俊・高槻圭悟・牛沢 勇
第21回全国化学技術協議会年会 1984年9月27日～28日（山口市）
11. スパイクタイヤによる道路粉じん調査
○氏家愛子・松浦 勉・加藤謙一・北村洋子・菊池 格
第10回北海道・東北ブロック公害研究連絡会議 1984年9月27日（秋保町）
12. 漆沢ダムにおける自然的要因による水質汚濁と湛水後3年間の水質変動
○佐々木久雄・佐々木俊行・田中和郎・高橋紀世子・鎌田正弘
佐藤秀夫・宮崎栄一郎・高橋正弘・大庭和彦・佐藤春雄
第10回北海道・東北ブロック公害研究連絡会議 1984年9月27日（秋保町）
13. 五点比較式臭袋法による測定について
○佐藤博明・小野研一・八木 純・飯塚武一・市川敬典
第10回北海道・東北ブロック公害研究連絡会議 1984年9月27日（秋保町）
14. B(a)Pの分解を防いだPAHの分析法並びに魚介類の分析
○高槻圭悟・鈴木 滋・佐藤信俊・牛沢 勇
第23回薬学会東北支部大会 1984年10月14日（仙台市）
15. 水素化ひ素発生一原子吸光法におけるバックグラウンド成分と環境標準試料リヨウブおよびクロレラ中のひ素の測定
○千葉 規・菅原隆一・湯田和郎
第23回薬学会東北支部大会 1984年10月14日（仙台市）
16. ジルコニウム共沈一原子吸光法による環境標準試料リヨウブおよびクロレラ中の各種重金属の測定
○菅原隆一・千葉 規・湯田和郎
第23回薬学会東北支部大会 1984年10月14日（仙台市）
17. 伝染性紅斑とヒトパルボウイルス
○白石廣行・白地良一・沼崎義夫・熊坂鉄郎・Robert H.Purcell,
Philip P.Mortimer
第38回日本細菌学会東北支部総会 1984年10月23日～24日（天童市）
18. 宮城県における恙虫病の血清学的検索 - 第2報 -
○秋山和夫・佐久間 隆・白地良一・山本 仁・新妻澤夫
白取剛彦
第38回日本細菌学会東北支部総会 1984年10月23日～24日（天童市）
19. 道路周辺での自動車排ガス関連物質（NO₂、B a P等）による大気汚染への影響
○北村洋子・氏家愛子・加藤憲治・菊池 格
第25回大気汚染学会 1984年11月7日～9日（宇部市）
20. ばい煙発生施設で使用されている燃料中の硫黄分の動向について
○松浦 勉・北村洋子・氏家愛子・安倍陸夫
第11回環境保全・公害防止研究発表会 1984年12月6日～7日（東京都）
21. 環境騒音の評価量としてのLdnに関する検討 - Ldn予測モデルの実証 -
○加賀谷秀樹・小室健一・菊地英男・高橋宣明・佐藤春雄
第11回環境保全・公害防止研究発表会 1984年12月6日～7日（東京都）

1985年

1. A G Pによる水質評価

○佐々木 久雄・田中和郎・伊藤孝一・斎藤善則・鎌田正弘
第21回宮城県公衆衛生学会学術総会 1985年2月15日(仙台市)

2. 有機塩素系農薬の食品汚染と人血液中濃度について

○鈴木 滋・佐藤信俊・高槻圭悟・山田わか・小野研一
菊地秀明・百川和子・牛沢 勇
第21回宮城県公衆衛生学会学術総会 1985年2月15日(仙台市)

3. 本県におけるガン死亡率と環境要因との関係における統計的解析(第2報)

○清野 茂・庄子晃子・千葉 規・郡山 力・一ノ渡 義巳
第21回宮城県公衆衛生学会学術総会 1985年2月15日(仙台市)

4. ガス状ハロゲン化炭化水素の排出状況調査結果について

○菊池 格
第21回宮城県公衆衛生学会学術総会 1985年2月15日(仙台市)

5. 低沸点有機塩素化合物の地下水における挙動について

○木戸一博・千葉 規・湯田和郎・国包章一・相沢貴子
真柄泰基
第19回日本水質汚濁学会 1985年3月13日(東京都)

6. 宮城県におけるレプトスピラ症について

○秋山和夫・佐久間 隆・白地良一・山本 仁・新妻澤夫
遠藤好喜
第22回レプトスピラ・シンポジウム 1985年3月29日(東京都)

7. 血液疾患におけるHuman parvovirus (HPV) 感染の意義

北上川・阿武隈川水系水質汚濁対策連絡協議会第4回検討会 1985年2月6日(仙台市)

8. 地域住民のレプトスピラ感染実態

○佐久間 隆・秋山和夫・白地良一・新妻澤夫・遠藤好喜
第21回宮城県公衆衛生学会学術総会 1985年2月15日(仙台市)

9. 愛玩動物と飼育者のトキソプラズマ感染状況

○白地良一
第21回宮城県公衆衛生学会学術総会 1985年2月15日(仙台市)

10. 宮城県における恙虫病の血清学的検索 - 第2報 -

○秋山和夫・佐久間 隆・白地良一・山本 仁・新妻澤夫
白取剛彦
第21回宮城県公衆衛生学会学術総会 1985年2月15日(仙台市)

11. 酵素抗体法によるATLウイルス検出状況

○白地良一
第21回宮城県公衆衛生学会学術総会 1985年2月15日(仙台市)

12. 伝染性紅斑とヒトパルボウイルス

○白石廣行・白地良一・沼崎義夫・熊坂鉄郎・Robert H.Purcell,
Philip P.Mortimer
第21回宮城県公衆衛生学会学術総会 1985年2月15日(仙台市)

13. ポリオ生ワクチンの効果の持続性とポリオの今後

○梅津幸司・山本 仁・沖村容子・新妻澤夫・小室健一
第21回宮城県公衆衛生学会学術総会 1985年2月15日(仙台市)

14. 除草剤の生体影響に関する研究

○菊地秀明・鈴木 滋・佐藤信俊・高槻圭悟・牛沢 勇
白石廣行・斉藤 博・古田精市・大河内 一雄
第47回日本血液学会総会 1985年4月12日~14日(東京都)

15. 蛍光検出高速液体クロマトグラフィによる鶏肉中モネンシンの分析法
○高槻圭悟・鈴木滋・牛沢勇
日本食品衛生学会第49回学術講演会 1985年5月15日~17日(東京都)
16. 宮城県におけるA型肝炎の疫学
○白地良一・秋山和夫・新妻澤夫・鈴木禎・平井二郎
今野二郎・山口昌子・一ノ渡義巳・首藤友彦
第34回東北公衆衛生学会 1985年7月23日(青森市)
17. 宮城県における水道水中のトリハロメタンの状況
○千葉規
第34回東北公衆衛生学会 1985年7月23日(青森市)
18. 二追川の濃縮毒性について
○斎藤善則
第34回東北公衆衛生学会 1985年7月23日(青森市)
19. 感染症発生情報の解析
○山本仁
第9回東北六県防疫研究会 1985年8月23日(仙台市)
20. B群連鎖球菌の菌体より分離精製した抗インフルエンザ物質の生物活性
○助野典義
第39回日本細菌学会東北支部総会 1985年8月22日~23日(仙台市)
21. 宮城県におけるレプトスピラ症の疫学
○秋山和夫・加藤浩之・白地良一・山本仁・新妻澤夫
佐久間隆・遠藤好喜・白取剛彦
第39回日本細菌学会東北支部総会 1985年8月22日~23日(仙台市)
22. ヒトパルボウイルス陽性者にみられた伝染性紅斑様症例について
○白石廣行・遠藤信義・瀬尾悦子・赤石英
第9回日本赤十字社血液事業学会 1985年9月11日~12日(京都市)
23. 有機塩素系農薬の人中濃度と食品汚染
○鈴木滋・佐藤信俊・高槻圭悟・山田わか・小野研一
菊地秀明・百川和子・牛沢勇
第22回全国衛生化学技術協議会年会 1985年10月8日~9日(名古屋市)
24. ソルベントレス注入法によるキャピラリーGCの食品汚染物分析への応用
○佐藤信俊・鈴木滋・山田わか・百川和子・高槻圭悟
牛沢勇・竹下隆三
第22回全国衛生化学技術協議会年会 1985年10月8日~9日(名古屋市)
25. 改造個体試料用マイクロシリンジを用いたキャピラリーGC注入法
○佐藤信俊・鈴木滋・高槻圭悟・牛沢勇・竹下隆三
日本分析学会第34回年会 1985年10月10日~13日(神戸市)
26. 腸炎ピブリオ食中毒注意報, 10年間の精度行政効果
○湯田和郎
第44回日本公衆衛生学会 1985年10月17日~18日(富山市)
27. GC-MS, SIMによる畜肉中マクロライド系抗生物質の分析法
○高槻圭悟・鈴木滋・佐藤信俊・牛沢勇
日本食品衛生学会第50回学術講演会 1985年10月17日~18日(新潟市)
28. CNP関連化合物の魚介類濃縮に関する研究
○百川和子・佐藤信俊・鈴木滋・牛沢勇
第24回日本薬学会東北支部大会 1985年10月20日(仙台市)
29. 宮城県沿岸における麻痺性貝毒の推移と成分
○菊地秀明・佐藤明彦・中根ミワ子・牛沢勇
第24回日本薬学会東北支部大会 1985年10月20日(仙台市)

30. 降雨時の流入河川からの流出負荷量変化とその評価
○伊藤 孝一
第11回東北・北海道ブロック公害研研究連絡会議 1985年10月29日～30日(山形市)
31. スパイクタイヤ車粉じんの水平・垂直分布
○氏家 愛子
第11回東北・北海道ブロック公害研研究連絡会議 1985年10月29日～30日(山形市)
32. 道路周辺での自動車排ガス関連物質(NO₂等)による大気汚染-2-
○北村 洋子
第26回大気汚染学会 1985年11月12日～14日(東京都)
33. 宮城県山岳地域におけるオキシダント濃度について-1-
○加藤 憲治
第26回大気汚染学会 1985年11月12日～14日(東京都)
34. 宮城県における主要湖沼等のAGPと制限因子について
○佐々木 久雄
第12回環境保全・公害防止研究発表会 1985年12月5日～6日(東京都)
35. 自動車交通騒音自動測定システムの開発(I)
○菊地 英男
第12回環境保全・公害防止研究発表会 1985年12月5日～6日(東京都)

1986年

1. 保健情報管理におけるコンピューター応用システムの開発(I)
○内田 隆夫・山本 仁・佐藤 秀夫
第22回宮城県公衆衛生学会学術総会 1986年2月14日(仙台市)
2. 神経芽細胞腫マス・スクリーニング
○白石 廣行・新妻 澤夫
第22回宮城県公衆衛生学会学術総会 1986年2月14日(仙台市)
3. A型肝炎ウイルスの酵素免疫抗体法による検出法
○梅津 幸司・山本 仁・新妻 澤夫・千葉 良
第22回宮城県公衆衛生学会学術総会 1986年2月14日(仙台市)
4. トリコテセン系カビ毒による食品汚染
○山田 わか・鈴木 滋・佐藤 信俊・牛沢 勇
第22回宮城県公衆衛生学会学術総会 1986年2月14日(仙台市)
5. 悪臭による嗅覚障害に関する研究
○佐藤 博明
第22回宮城県公衆衛生学会学術総会 1986年2月14日(仙台市)
6. 宮城県におけるインフルエンザについて
○助野 典義
第3回インフルエンザ疫学研究会 1986年3月19日～20日(上山市)
7. ダイオキシンに関する研究(Ⅲ) - 魚介類による濃縮について -
○佐藤 信俊・百川 和子・鈴木 滋・菊地 秀明・牛沢 勇
第51回日本食品衛生学会 1986年5月14日～16日(東京都)
8. 鮮魚に使用されたモナスカス色素の確認法
○高槻 圭悟・鈴木 滋・牛沢 勇・阿部 和男・畠山 貞夫
第51回日本食品衛生学会 1986年5月14日～16日(東京都)
9. 宮城県における過去30年間の食中毒事件発生動向
○内田 隆夫・山本 仁・飯塚 武一
第35回東北公衆衛生学会 1986年7月17日(秋田市)
10. 宮城県内における水道水のかび臭発生状況に関する調査
○千葉 規・菅原 隆一・瀬戸 輝武
第35回東北公衆衛生学会 1986年7月17日(秋田市)

11. 宮城県におけるレプトスピラ症の予防と対策
○秋山和夫
全国衛生微生物技術協議会第7回研究会 1986年7月22日～23日(熊本市)
12. 百日咳F-HAおよびLPF-HA抗体調査
○秋山和夫・菱沼早樹子・梅津幸司・山本仁・新妻澤夫
千葉良
第40回日本細菌学会東北支部総会 1986年8月28日～29日(青森市)
13. 一人の患者から分離した性質の異なるB型インフルエンザについて
○助野典義
第4回インフルエンザ疫学研究会 1986年9月15日～16日(群馬県富士見村)
14. Total Diet StudyによるDON, NIVの調査結果
○山田わか・鈴木滋・庄子卓郎・佐藤信俊
第23回全国衛生化学技術協議会年会 1986年10月2日～3日(長崎市)
15. 水田用農薬及びその不純物, 代謝物による魚介類汚染
○鈴木滋
日本農薬学会農薬環境科学研究会 1986年10月8日～10日(宮城県鳴子町)
16. 魚介類中のトリブチル錫化合物の分析法
○佐藤真貴子・菊地秀明・鈴木滋・高槻圭悟・庄子卓郎
第25回日本薬学会東北支部大会 1986年10月18日～19日(弘前市)
17. HPLC, GLCによる鶏肉中の残留ナイカルバジンの分析法
○高槻圭悟・庄子卓郎
第25回日本薬学会東北支部大会 1986年10月18日～19日(弘前市)
18. ジルコニウム共沈法による飲料水中各種重金属の定量法の検討(2) - 化学干渉と分光干渉 -
○千葉規・菊地秀明・菅原隆一・関敏彦・広島紀以子
三島靖子・横田勝司・三原祐一・桜井守・久間木国夫
阿部恵子・千葉いせ子
第25回日本薬学会東北支部大会 1986年10月18日～19日(弘前市)
19. 湖沼データ解析による環境アセスメントへの応用-水質データ解析システムの構築
○嵯峨京時
第12回北海道・東北ブロック公害研研究連絡会議 1986年10月23日～24日(新潟市)
20. 仙台湾背後地における降下物調査
○阿部勝彦・氏家愛子・梅津幸司・加藤謙一・加藤信男
船木宏
第12回北海道・東北ブロック公害研研究連絡会議 1986年10月23日～24日(新潟市)
21. 海水試料における酸性COD法とアルカリCOD法の検討について
○我妻正道
第12回北海道・東北ブロック公害研研究連絡会議 1986年10月23日～24日(新潟市)
22. 宮城県における感染症サーベイランス患者発生情報の検討
○山本仁
第45回日本公衆衛生学会 1986年10月29日～31日(仙台市)
23. 悪臭に関する住民意識調査結果 - 悪臭に係わる環境保全水準の算出 -
○嵯峨京時
第45回日本公衆衛生学会 1986年10月29日～31日(仙台市)
24. 宮城県における「神経芽細胞腫マス・スクリーニング」について
○白石廣行・新妻澤夫
第45回日本公衆衛生学会 1986年10月29日～31日(仙台市)
25. 宮城県におけるレプトスピラ症
○秋山和夫・白地良一・山本仁・新妻澤夫
第45回日本公衆衛生学会 1986年10月29日～31日(仙台市)

26. ウィルス性嘔吐下痢症の通年観察
○梅津 幸司・山本 仁・新妻 澤夫
第45回日本公衆衛生学会 1986年10月29日～31日(仙台市)
27. 有機リン系農薬の食品中残留について(過去10年間の分析結果の評価)
○鈴木 滋
第45回日本公衆衛生学会 1986年10月29日～31日(仙台市)
28. 有機塩素系農薬による最近の食品汚染 ディルドリンを中心に
○一色 徹
第45回日本公衆衛生学会 1986年10月29日～31日(仙台市)
29. ジフェニルエーテル系除草剤の生体影響 -肝薬物代謝系に及ぼす影響-
○菊地 秀明
第45回日本公衆衛生学会 1986年10月29日～31日(仙台市)
30. 細菌の塩素抵抗性に関する基礎的検討
○平 富貴・湯田 和郎
第45回日本公衆衛生学会 1986年10月29日～31日(仙台市)
31. し尿処理施設と浄化槽放流水のBOD測定時における硝化の影響
○米山 達彦
第45回日本公衆衛生学会 1986年10月29日～31日(仙台市)
32. 宮城県における夏期のオキシダント濃度状況について
○仁平 明
第45回日本公衆衛生学会 1986年10月29日～31日(仙台市)
33. 幹線道路近傍における大気汚染
○北村 洋子
第45回日本公衆衛生学会 1986年10月29日～31日(仙台市)
34. 除草剤CNPの河川水の残留濃度の推移と微生物分解能について
○伊藤 孝一
第45回日本衛生学会 1986年10月29日～31日(仙台市)
35. 各種排水の急性毒性について
○斎藤 善則
第45回日本公衆衛生学会 1986年10月29日～31日(仙台市)
36. 悪臭公害と嗅覚反応について
○佐藤 博明
第45回日本公衆衛生学会 1986年10月29日～31日(仙台市)
37. 道路交通騒音通年調査の有効性について
○菊地 英男
第45回日本公衆衛生学会 1986年10月29日～31日(仙台市)
38. 宮城県内における水道水のかび臭発生状況に関する調査
○千葉 規・菅原 隆一・瀬戸 輝武
第6回宮城県薬剤師会学術大会 1986年11月9日(仙台市)
39. 細菌によるオキシダント計の感度低下
○北村 洋子・仁平 明・加藤 信男
第27回大気汚染学会 1986年11月16日～18日(京都市)
40. 臭気指数判定の簡略法開発
○佐藤 博明
第27回大気汚染学会 1986年11月16日～18日(京都市)
41. 仙台湾沿岸地域における大気汚染観測局の地域代表性について
○加藤 憲治・仁平 明・四十物 良一・船木 宏・加藤 信男
第13回環境保全・公害防止研究発表会 1986年12月4日～5日(東京都)

1987年

1. 「水質汚濁の生じ易さ」を指標として用いた環境利用性評価の事例
○小葉松 英 行
第13回北海道・東北ブロック公害研究連絡会議 1987年10月22～23日（盛岡市）
2. 感染症流行における地域性の検討
○内 田 隆 夫・山 本 仁・飯 塚 武 一
第36回東北公衆衛生学会 1987年8月28日（仙台市）
3. 成人におけるヒトパルボウイルス（HPV）感染
○白 石 廣 行・速 藤 信 義・松 田 好 史・菅 村 和 夫
第35回日本ウィルス学会総会 1987年11月（京都市）
4. 高速液体クロマトグラフィーによる尿中バニルマンデル酸、ホモバニリン酸およびクレアチニンの同時分析
○白 石 廣 行・川 口 成 治・高 橋 裕 明
第15回代謝異常スクリーニング研究会 1987年9月（大阪市）
5. 伝染性紅斑の病原パルボウイルスの現状
○白 石 廣 行
第11回東北6県防疫研究会 1987年8月（秋田市）
6. 宮城県における風疹の発生状況 —過去7年間の調査成績から—
○秋 山 和 夫・菱 沼 早 樹 子・内 田 隆 夫・山 本 仁・新 妻 澤 夫
高 橋 一 雄
第23回宮城県公衆衛生学会 1987年7月24日（仙台市）
7. 宮城県における恙虫病調査
○菱 沼 早 樹 子・秋 山 和 夫・山 本 仁・新 妻 澤 夫・大 竹 秀 男
第36回東北公衆衛生学会 1987年8月28日（仙台市）
8. 仙台市内におけるクラミジア・トラコマティスの抗体保有状況
○梅 津 幸 司 他
第36回東北高私有衛生学会 1987年8月（仙台市）
9. ジブチルスズ化合物のガスクロマトグラフィーによる分析
○菊 池 格・鈴 木 滋・庄 子 卓 郎
第23回宮城県公衆衛生学会学術総会 1987年7月24日（仙台市）
10. マーケットバスケット法による日常食品からの汚染物摂取量調査(Ⅲ)
○菊 池 秀 明・百 川 和 子・鈴 木 滋・佐 藤 真 貴 子・高 槻 圭 悟
菊 池 格・庄 子 卓 郎・山 田 わ か・佐 藤 信 俊
第36回東北公衆衛生学会 1987年8月28日（仙台市）
11. 塩素系殺ダニ剤CPCBS（クロルフェンゾン）の果物中残留
○百 川 和 子・菊 池 秀 明・鈴 木 滋・庄 子 卓 郎
第24回全国衛生化学技術協議会年会 1987年10月1日（東京都）
12. 蛍光検出高速液体クロマトグラフィーによるカスガマイシンの分析法
○高 槻 圭 悟・庄 子 卓 郎・瀬 戸 輝 武
日本食品衛生学会第54回学術講演会 1987年10月10月15～16日（神戸市）
13. 重金属分析の精度管理の経験から
○菊 池 秀 明
第26回日本薬学会東北支部大会 1987年10月18日（仙台市）
14. 浄化槽機能検査項目の統計的解析
○木 戸 一 博・米 山 達 彦・清 野 清・瀬 戸 輝 武
第36回東北公衆衛生学会（仙台市）
15. 細菌の塩素抵抗性に関する基礎的検討
○平 富 貴・湯 田 和 郎・瀬 戸 輝 武
第36回東北公衆衛生学会（仙台市）

16. 細菌によるオキシダント計の感度低下 (第2報)
○船木 宏・北村 洋子・仁平 明・加藤 信男
第36回東北公衆衛生学会 1987年8月28日 (仙台市)
17. 鉄道騒音の調査結果について
○菊地 英男・高梨 忠男
第36回東北公衆衛生学会 1987年8月28日 (仙台市)
18. 臭気指数判定の簡略法について
○佐藤 博明・渡辺 丈夫・高梨 忠男
第36回東北公衆衛生学会 1987年8月28日 (仙台市)
19. オキシダント計感度低下防止に関する調査研究
○船木 宏
第13回北海道・東北ブロック公害研究連絡会議 1987年10月22日～23日 (盛岡市)
20. 臭袋の洗浄効果について
○佐藤 博明
第28回大気汚染学会 1987年10月26日～28日 (東京都)
21. 昭和61年度県内環境分析統一精度管理調査結果について
○藤原 秀一・斎藤 善則
第13回北海道・東北ブロック公害研究連絡会議 1987年10月22日～23日 (盛岡市)

1988年

1. 仙台湾背後地における降下物調査
○船木 宏・氏家 愛子・加藤 謙一・浦山 清・高梨 忠男
第14回環境保全・公害防止研究発表会 1988年1月21日～22日 (東京都)
2. 仙台湾背後における降下物調査
○氏家 愛子・加藤 謙一・浦山 清・船木 宏・高梨 忠男
第38回宮城県環境衛生技術職員研修大会 1988年1月22日～23日 (仙台市)
3. 除草剤CNPの河川水の残留濃度の推移と微生物分解について
○伊藤 孝一・藤原 秀一・佐々木 久雄
第22回日本水質汚濁学会 1988年3月17日～19日
4. Ca, Mgがアンモニウムと無機炭素の魚毒性に与える影響について
○斎藤 善則・藤原 成明
第22回日本水質汚濁学会 1988年3月17日～19日
5. 感染症サーベイランス情報の精度管理方法
○三浦 英美・助野 典義
第12回東北6県防疫研究会 1988年8月26日 (盛岡市)
6. 県内で発生した重症ワイル病についての考察
○秋山 和夫・山本 仁
第24回宮城県公衆衛生学会学術総会 1988年5月20日 (仙台市)
7. 宮城県内で分解されたレプトスピラの血清型の検討
○秋山 和夫・菱沼 早樹子・白地 良一・山本 仁
第26回レプトスピラ・シンポジウム 1989年3月26日 (東京都)
8. 小児科外来でみた乳児嘔吐下痢症 (第1報815例のウイルス学的検討)
○永井小児科 永井 幸夫・梅津 幸司・山本 仁
第40回北日本小児科学会 1988年9月23日 (山形市)
9. ニジマスとラットの肝ミクロゾームによるPCDDの代謝
○鈴木 滋・伊藤 孝一・瀬戸 輝武・福原 守雄
日本食品衛生学会第55回学術講演会 1988年5月18日 (横浜市)
10. 食物繊維摂取量調査
○勝倉 由美・菊地 秀明・菊池 格
第24回宮城県公衆衛生学会学術総会 1988年5月20日 (仙台市)

11. 魚類中のトリブチルスズ化合物
○菊池 格・佐藤 真貴子・菊地 秀明・鈴木 滋・高槻 圭悟
第37回東北公衆衛生学会 1988年8月31日(山形市)
12. アスコルビン酸の妨害を除去したたらこ中の亜硝酸根分析
○高槻 圭悟・菊池 格
第27回日本薬学会東北支部大会 1988年10月23日(郡山市)
13. マーケットバスケット方式による日常食品からの汚染物摂取量調査(IV)低沸点ハロゲン化炭化水素について
○菊地 秀明・鈴木 滋・菊池 格
第27回日本薬学会東北支部大会 1988年10月23日(郡山市)
14. キャピラリーGLC-NPD, MS-SIM検出によるニトロソジメチルアミンの分析法
○高槻 圭悟・菊池 格
日本食品衛生学会第56回学術講演会 1988年11月17~18日(静岡市)
15. かび臭のいき値について
○高橋 紀世子・紺野 光雄・瀬戸 輝武・菅原 隆一
第37回東北公衆衛生学会 8月31日(山形市)
16. 宮城県における道路粉じんの状況及び道路粉じんに及ぼす影響因子について
○氏家 愛子
第29回大気汚染学会 1988年11月10日(仙台市)
17. 冬期の道路近傍での汚染質の動向とSPM測定上の問題点
○佐藤 郁子・氏家 愛子・仁平 明・加藤 憲治
第29回大気汚染学会 1988年11月10日(仙台市)
18. 仙台地域における浮遊粉じん高濃度と気象状況について
○加藤 憲治・仁平 明・佐藤 郁子
第29回大気汚染学会 1988年11月10日(仙台市)
19. オキシダント計の感度低下原因の一考察とデータ処理
○仁平 明
第29回大気汚染学会 1988年11月9日(仙台市)
20. 測定例におけるパネルの閾値について
○佐藤 博明
第29回大気汚染学会 1988年11月11日(仙台市)
21. 官能試験法の現場的な問題点について
○佐藤 博明
第29回大気汚染学会 1988年11月9日(仙台市)
22. 北国におけるオキシダント濃度変化の特徴について
○仁平 明・加藤 憲治・佐藤 郁子・斎藤 達夫
第14回北海道・東北ブロック公害研究連絡会議 1988年10月21日(福島県いわき市)

1989年

1. 緑地環境指標に関する適用性の検討
○米山 達彦・小室 健一・小葉松 英行
第14回北海道・東北ブロック公害研究連絡会議 1988年10月21日(いわき市)
第15回環境保全・公害防止研究発表会 1989年1月12日(東京都)
2. GC-MS, SIMによる残留サルファ剤の一斉分析法
○高槻 圭悟・菊池 格
第57回日本食品衛生学会 1989年5月17~19日(東京都)
3. 宮城県におけるツツガムシの生息実態調査
○秋山 和夫・佐久間 隆・御代田 恭子・山本 仁
第25回宮城県公衆衛生学会学術総会 1989年5月26日(仙台市)

4. 宮城県における先天性副腎過形成症マス・スクリーニング
○沖村容子・山田久美子・白石廣行・山本 仁
第25回宮城県公衆衛生学会学術総会 1989年5月26日(仙台市)
5. 宮城県における神経芽細胞腫マス・スクリーニング
○加茂えり子・清野陽子・白石廣行・山本 仁
第25回宮城県公衆衛生学会学術総会 1989年5月26日(仙台市)
6. 魚介類のTBT残留調査
○佐藤真貴子・佐藤 勤・菊池 格
第25回宮城県公衆衛生学会学術総会 1989年5月26日(仙台市)
7. ワイル病患者および野ネズミから分離したレプトスピラの血清型の検討
○佐久間 隆・御代田 恭子・秋山和夫・山本 仁
第43回日本細菌学会東北支部総会 1989年8月25~26日(仙台市)
8. 感染症サーベイランス情報による疾病解析と発生予測
○三浦英美・助野典義
第13回東北防疫研究会 1989年8月26日(仙台市)
9. 宮城県における貝毒について
○菊地 秀明
第28回日本薬学会東北支部大会 1989年10月15日(仙台市)
10. 低質中の低沸点有機塩素化合物の分析法と吸着量について
○高橋紀世子・木戸一博・紺野光雄
第28回日本薬学会東北支部大会 1989年10月15日(仙台市)
11. PIXE法による沿道大気粉じんの分析事例
○氏家愛子・大金仁一・浦山 清・仁平 明・齋藤達夫
第15回北海道・東北ブロック公害研究連絡会議 1989年10月24~25日(札幌市)
12. 有機汚染の実態とその解析
○木戸一博・古市 徹
日本地下水学会1989年度秋季講演会 1989年10月25日(つくば市)
13. 単独浄化槽の処理機能に関する考察
○清野 茂
日本水質汚濁研究協会東北支部セミナー 1989年11月17日(仙台市)

1990年

1. 県内環境測定分析統一精度管理調査
(全窒素昭和61年~63年度3ヶ年間のまとめ)
○清野 茂
第40回宮城県環境衛生技術職員研修大会 1990年1月19~20日(仙台市)
2. 宮城県における疫学情報解析への新しい取り組み方
○三浦英美・助野典義
第3回公衆衛生情報研究協議会研究会 1990年2月3日(東京都)
3. 日常食中の汚染物摂取量調査
○佐藤真貴子
地研・北海道・東北・新潟支部衛生化学研究部会総会 1990年2月5~6日
4. GC-MS, SIMによる養殖魚中のオキシリン酸の分析法
○高槻圭悟・菊池 格
第59回日本食品衛生学会 1990年5月16~18日(東京都)
5. 宮城県におけるツツガムシの生息実態調査第2報
○秋山和夫・植木 洋・御代田 恭子・山本 仁
第26回宮城県公衆衛生学会 1990年5月31日(仙台市)
6. 宮城県における神経芽細胞腫マス・スクリーニング(第2報)
○清野陽子・加茂えり子・白石廣行・山本 仁
第26回宮城県公衆衛生学会 1990年5月31日(仙台市)

7. 食品中の低沸点ハロゲン化炭化水素に関する研究
○菊池 格・菊地 秀明・鈴木 滋・勝倉 由美
第26回宮城県公衆衛生学会 1990年5月31日(仙台市)
8. ヒトパルボウィルスのELISA法によるAg/Ab検出法
○白石 廣行
衛生微生物技術協議会第11回研究会 1990年7月26日(松山市)
9. 食中毒情報データベースの構築について
○内田 隆夫・助野 典義・船木 宏
東北食中毒研究会第3回全体会議 1990年8月22日(上市市)
10. 感染症サーベイランスのパソコン利用について
○三浦 英美・助野 典義
第14回東北防疫研究会 1990年8月23日(上市市)
11. EPIDEMIOLOGICAL ANALYSES OF LEPTOSPIROSIS IN MIYAGI PREFECTURE THROUGH 30 YEARS
○KAZUO AKIYAMA・HIROYUKI SHIRAIISHI・HITOSHI YAMANO・NAKAO ISIDA
LEPTOSPIROSIS RESEARCH CONFERENCE 1990 1990. 9. 24~26(松山市)
12. 活性汚泥を用いた水中毒物の検出について
○石川 潔・小泉 俊一
第29回日本薬学会東北支部大会 1990年10月14日(仙台市)
13. 分離曝気方式単独浄化槽における機能検査項目の統計的解析
○木戸 一博・白地 良一・田手 潔・杉山 宏・庄子 卓郎
第29回日本薬学会東北支部大会 1990年10月14日(仙台市)
14. 宮城県におけるO₂高濃度の事例について
○仁平 明・百川 和子・小島 秀行・斎藤 達夫
第16回北海道・東北ブロック公害研研究連絡会議 1990年10月18~19日(青森市)
15. 台風通過による大気質の変化について
○小島 秀行・百川 和子・仁平 明・斎藤 達夫
第16回北海道・東北ブロック公害研研究連絡会議 1990年10月18~19日(青森市)
16. リコンビナント抗原を用いたB19IgM抗体測定ELISA法
○白石 廣行
第38回ウィルス学会総会 1990年11月12日(東京都)

1991年

1. GC-MS, SIMによる魚介類中のオキシリン酸, ナリジクス酸, ピロミド酸の同時分析法
○高槻 圭悟・菊池 格
第61回日本食品衛生学会 1991年5月15~17日(東京都)
2. 水道水の異臭味に関する研究
○高橋 紀世子・木戸 一博・小野 研一・白地 良一
第42回全国水道研究発表会 1991年5月29~31日(長崎市)
3. 小型球形ウィルスによる急性胃腸炎
○山本 仁・菅野 信一・梅津 幸司
第27回宮城県公衆衛生学会 1991年5月31日(仙台市)
4. 濾紙血液中のコレステロール検査法
○白石 廣行・今野 寿美枝・山本 仁・沖村 容子
第27回宮城県公衆衛生学会 1991年5月31日(仙台市)
5. 東北からみた最近の患者発生動向の特徴と情報解析法
○助野 典義・三浦 英美・高橋 富基
微生物技術協議会第12回研究会 1991年7月18~19日(神戸市)
6. 食中毒情報データベースの利用状況等について
○内田 隆夫・助野 典義・山本 仁
東北食中毒研究会第4回全体会議 1991年9月4~5日(福島市)

7. 新幹線鉄道騒音のレール削正による低減効果等について

○加藤 憲治・榎野 光永・渡辺 丈夫・新垣 康秀・宮崎 栄一郎
柳田 則明・佐々木 俊行・斎藤 達夫・菊池 英男
(社)日本騒音制御工学会平成3年度技術発表会 1991年9月18～19日

8. 新幹線鉄道による低周波震動の事例について

○加藤 憲治・渡辺 丈夫・新垣 康秀・榎野 光永・宮崎 栄一郎
柳田 則明・佐々木 俊行・斎藤 達夫・菊池 英男
第17回北海道・東北ブロック公害研研究連絡会議 1991年10月8～9日

9. 宮城県におけるA型肝炎の血清疫学

○菅野 信一・白石 廣行・山本 仁
平成3年度地研北海道・東北・新潟支部微生物研究部会総会 1991年11月21日(新潟市)

1992年

1. 保健医療情報システムの導入との利用

○助野 典義
第5回公衆衛生情報研究協議会定期研究会 1992年1月31日～2月1日(東京都)

他誌掲載論文

	誌名	題名	著者名	巻, 頁, 年
1982年	医学のあゆみ	咽喉ぬぐい液中のヒトロタウイルス	梅津幸司 白地良一 山本仁郎 今野二郎 永井武夫 鈴木宏 石田名香雄	121, 482, 1982
	医学のあゆみ	ヒトロタウイルスの分離	梅津幸司 白地良一 山本仁郎 今野二郎 永井武夫 海老名卓三郎 石田名香雄	121, 330, 1982
	臨床とウイルス	風疹患者血清中の特異imG抗体の消長とその意義	秋山地和夫 白石地良一 石田名香雄	10, 75, 1982
	食品衛生学雑誌	魚介類中からのMolinate, Benthocarb, 及びButachlorの検出及び定量法の検討	佐藤信俊 鈴木滋 加茂えり子 高槻圭悟 牛沢勇一 塚敬一	23(6), 456, 1982
	悪臭の研究	建屋臭気の意味するもの [I]	氏家国夫 八木純雄 佐藤春雄	12, 54, 1982
	小児科	冬季に経験した呼吸器症状を伴った乳幼児下痢症のウイルス学的検査	梅津幸司 白地良一 千葉葉子 望月恵子 久手監修 川村和久 中江信義夫 小松茂夫 州崎城辰雄 宮堀川雅彦 寺沢政彦 新津泰孝	24, 1231, 1982

	誌名	題名	著者名	巻, 頁, 年
1983年	食品衛生学雑誌	CNP代謝物の魚介類残留	佐藤 信俊 鈴木 滋 加茂 えり子 高槻 圭悟 菊地 秀明 牛沢 勇一 堺 敬一	24(2), 187, 1983
	医学のあゆみ	RPHAを用いたヒトロタウイルスの中和抗体測定法	梅津 幸司 白地 良一 千葉 良 海老名 卓三郎 佐藤 昭夫 石田 名香雄	127, 1071, 1983
	免疫と血液	非A・非B型肝炎関連抗原	白地 良一 舘田 朗 桜井 富久子 菊地 金男	5, 405, 1983
1984年	臨床病理	HVB-DNAのインテグレーション	白石 廣行	xxx11(11), 1173, 1984
1985年	医学のあゆみ	ポリオ生ワクチン投与後の中和抗体持続年数の推定	梅津 幸司 山本 仁子 沖村 容子 秋山 和夫 助野 典義 新妻 澤夫 小室 健一 白取 剛彦 今野 二郎 海老名 卓三郎 石田 名香雄	132(9), 666, 1985
	環境技術	宮城県における酸性雨調査	北村 洋子	2, 150, 1985
	産業公害	総説 スパイクタイヤ使用に伴う粉塵の現状と対策	氏家 愛子	21, 126, 1985
	医学のあゆみ	酵素免疫抗体(EIA)法を用いた血清中ヒトパルボウイルスの精製	白石 廣行	134, 10, 1985
	医学のあゆみ	血液疾患患者におけるヒトパルボウイルス感染	白石 廣行	135, 4, 1985

	誌名	題名	著者名	巻, 頁, 年
1985年	J. Food Hyg. soc. Japan.	Pollution of Corbiculae with Chlorinated Dibenzop-dioxins from a Herbicide, Chlornitrofen.	Shigeru Susuki, Nobutoshi Sato, Keigo Takatuki, Hideaki Kikuchi and Isamu Usizawa	27(2), 137, 1985
	J. ASSOC. OFF. ANAL. CHEM.	Liquid Chromatographic Determination of Polycyclic Aromatic Hydrocarbons in Fish and Shellfish	Keigo Takatuki, Shigeru Suzuki, Nobutoshi Sato and Isamu usizawa	68(5), 945, 1985
1986年	医学のあゆみ	鶏肉によるカンピロバクター食中毒の集団発生事例	斉藤紀行 白取剛彦 山本仁	136, 525, 1986
	厚生省特定疾患難治性の肝炎調査研究班昭和60年度報告書	非A非B型肝炎関連抗原抗体系について	白地良一	33, 1986
	J. ASSOC. OFF. ANAL. CHEM.	Liquid Chromatographic Determination of Monensin in Chicken Tissues with Fluorometric Detection and Confirmation by Gas Chromatography-Mass Spectrometry	Keigo Takatuki, Shigeru Suzuki and Isamu Usizawa	69, 443, 1986
1987年	Journal of Chromatography	Gas Chromatographic-Mass Spectrometric Determination of Macrolide Antibiotics in Beef and Pork Using Single Ion Monitoring	Keigo Takatuki, Isamu Ushizawa, Takuro Shoji	391, 207, 1987
	大気汚染学会誌	細菌によるオキシダント計の感度低下	北村洋子 仁平明 菊池格 加藤信男	22(1), 36, 1987

	誌名	題名	著者名	巻, 頁, 年
1987年	臨床と微生物	ペット飼育者とペットなどのトキソプラズマ感染実態	白地良一 葛岡勝悦 秋山和夫他	14(2), 2177, 1987
	日本医事新報	宮城県における肝炎ウィルス母子感染防止事業	白地良一	No.3317
	医学のあゆみ	ヒトパルボウィルス (HPV) 抗原陽性献血者にみとめられた風邪様症状	白石廣行 瀬尾悦子 佐藤敦子 遠藤信義 赤石英	141(3), 173, 1987
	生体の科学	ビオチン-アビジン酵素免疫抗体法	白石廣行	38(5), 437, 1987
	医学のあゆみ	A型肝炎ウィルスのビオチン-アビジンEJAによる検出-抗原検出の有用性-	梅津幸司他	141, 955, 1987
	日畜会報	牛筋組織の構成単位としての筋束の構築	星野忠彦 新妻澤夫 玉手英夫	58(10), 817, 1987
	J.Assoc.Off. Anal.Chem.	Gas Chromatographic-Mass Spectrometric Determination of Erythroycin in Beef and Pork	Keigo Takatuki, Sigeru Suzuki, Nobutosi Sato, Isamu Usizawa	70, 708, 1987
	J.Assoc.Off. Anal.Chem.	Liquid Chromatographic Determination of Free and Added Niasin and Niacinamide in Beef and Pork	Keigo Takatuki, sigeru Suzuki, Makiko Sato, Keiichi Sakai, Isamu Usizawa	70, 698, 1987
	生活と環境	産業廃棄物溶出試験の問題点	千葉規 田中勝	32(5), 63, 1987
	浄化槽	宮城県における浄化槽の実態調査	木戸一博 清野茂 田手潔 横山実	10, 27, 1987
1988年	臨床とウィルス	HTLV-1抗体の確認方法と末梢リンパ球のHTLV-1抗原の検出	白地良一 葛岡勝悦	16(4), 519, 1988

	誌名	題名	著者名	巻, 頁, 年
1989年	衛生化学	鮮魚に使用されたモノナスカス色素の確認	高 槻 圭 悟 鈴 木 滋 牛 沢 勇 庄 子 卓 郎	34, 350, 1988
	Tohoku J. Exp.Med.	Statistical Approach towards Point Sources of Groundwater Pollution with Tetrachloroethylene :A Field Study	Kazuhiro Kido, Yasumoto Magara, Tohru Furuichi, Masayuki Ikeda	157, 229, 1989
	生活と環境	宮城県のスパイクタイヤによる道路粉塵の概況	氏 家 愛 子	34(3), 45, 1989
1990年	神経芽細胞腫マス・スクリーニング(86-93)	高速液体クロマトグラフィー法によるマス・スクリーニングの実績報告-宮城県-	白 石 廣 行 清 野 陽 子 加 茂 えり子	
	Microbiol. Immunol.	Human Parvovirus(HPV/B19)Infection with Purpura	Hiroyuki Shiraishi, Koji Umetsu, Hitoshi Yamamoto	33(4), 369, 1989
	J.Chromatogr.	Determination of N-nitrosodimethylamine in Fish Products using Gas Chromatography with Nitrogen-Phosphorus Detection	Keigo Takastuki, Tadashi Kikuchi	508, 357, 1990
	J.Assoc.Off. Anal.Chem.	Gas Chromatographic-Mass Spectrometric Determination of Six Sulfonamide	Keigo Takatsuki, Tadashi Kikuchi	73, 886, 1990
1991年	医学のあゆみ	ヒトパルボウイルス (HPV/B19) の家族内感染	白 石 廣 行 石 田 望	156, 115, 1991
	J.Chromatogr.	Residues in Egg and Animal Tissues Gas Chromatographic-Mass Spectrometric Determination of Oxolinic Acid in Fish Using Selected Ion Moonitoring	Keigo Takatsuki	538, 259, 1991

10年間の退職者

退職者年月日	氏名	退職時の職名
昭和58年 3月31日	澤田和博	事務局長
昭和59年 3月31日	堺敬一	副所長
昭和59年 3月31日	砂沢耕子	主査
昭和59年 3月31日	田村一枝	研究員
昭和59年 3月31日	郡山力	環境衛生部長
昭和60年 3月31日	早坂三郎	副参事兼事務局次長
昭和60年 3月31日	日下富子	技師(試)
昭和61年 3月31日	小野寺恒之	所長
昭和61年 3月31日	斎明	事務局長
昭和61年 3月31日	奥山吉	技師(試主)
昭和61年 3月31日	牛沢勇	理化学部長
昭和61年 12月31日	佐藤秀夫	副所長
昭和61年 12月31日	一色徹	技師
昭和62年 3月31日	飯塚武一	情報管理部長
昭和62年 3月31日	加藤信男	大気部長
昭和63年 3月31日	佐藤春雄	所長
昭和63年 3月31日	高橋一雄	副所長
昭和63年 3月31日	本田勲	事務局次長
昭和63年 3月31日	新妻澤夫	微生物部長
平成元年 3月31日	滝島哲夫	所長
平成元年 3月31日	高橋亮	事務局長
平成2年 3月31日	山田久美子	技師
平成2年 3月31日	高梨忠男	副所長
平成2年 3月31日	清水正夫	水質部長
平成2年 4月8日	菊地秀明	研究員(在職中死亡)
平成3年 3月31日	須藤君子	研究員
平成4年 3月31日	赤間武彦	事務局長
平成4年 3月31日	加藤清	技師(運主)
平成4年 3月31日	高橋成人	上席主任研究員
平成4年 3月31日	氏家顕	水質部長
平成5年 3月31日	大田範夫	副参事兼事務局次長
平成5年 3月31日	吉崎雄三	技師(運主)
平成5年 3月31日	西村はるみ	技師

編集後記

平成5年の夏は昨年以上に異常な夏でした。数十年前であれば飢饉の年になったことでしょう。

保健環境センターが、発足して満十年が経過しました。付録として「10年の歩み」をまとめておきました。

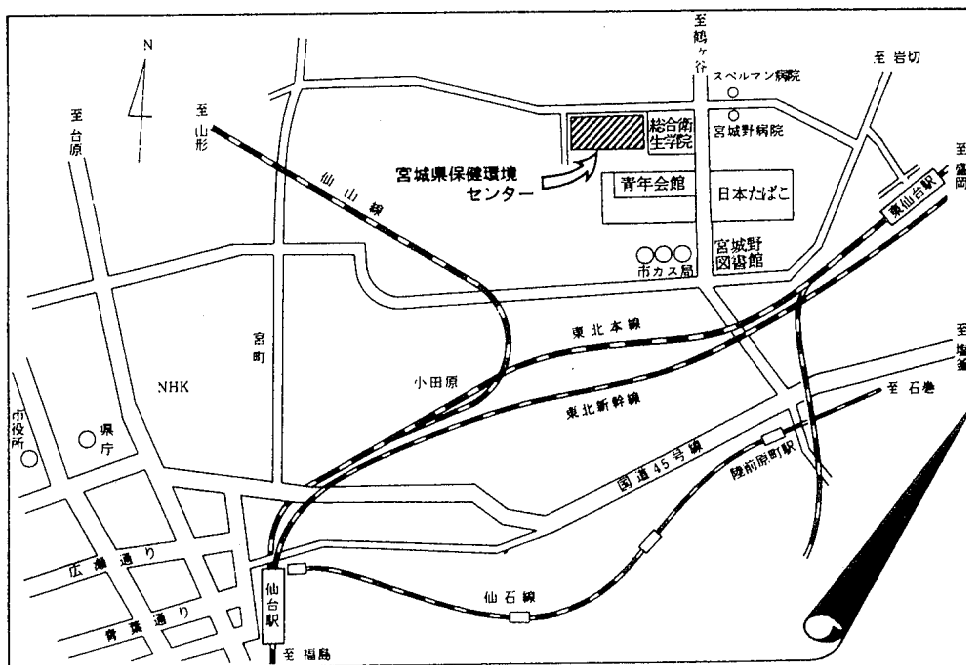
さて、高齢化社会を目前にして公衆衛生、福祉などの分野で新たな取り組みが求められています。本庁の組織は、8月に大きな機構改革がありました。いずれ、我々にも、新たな皮袋が用意される時がくるでしょう。その時が、我々にとって更なる発展の時となるよう切磋琢磨しておきましょう。

(高橋 記)

編集委員

高橋 富基(委員長)	葛岡 勝悦
小室 健一(副委員長)	高槻 圭悟
畠山 章男	高橋 紀世子
三浦 英美	新垣 康秀
鍵谷 真男	佐藤 勤

宮城県保健環境センター



保環セ 436号

平成6年 3月 3日

各位

宮城県保健環境センター所長

(公印省略)

年報の送付について

当センター年報第11号を作成しましたので送付します。

御参考に供していただければ幸に存じます。



宮城県保健環境センター 第11号
(平成4年度)

印刷 平成5年11月

編集発行 宮城県保健環境センター

〒983 仙台市宮城野区幸町四丁目7番2号

電話 022-257-7181 (代)

